

事務事業評価シート

(H.30)No.	7012	(H.29)No.	7012
-----------	------	-----------	------

事務事業名	水道事業会計		
担当部局名	担当室名	室長名	
上下水道部	経営総務室	奥本 敏文	

会計区分	事業コード	007012
水道事業会計	(中事業名)※予算書事業名	
款		
項	(小事業名)	
目		

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5	快適な生活環境づくり
	施策	4	上水道
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
持続可能で安心安全な水道サービスの提供
事業内容
名張市水道事業基本計画(水道ビジョン)に基づき、水道水を安定的に供給するため、老朽化施設・老朽管の更新・改良を進めるとともに、耐震性の向上を図ります。また、水道水源の保全や水質の向上に努め、安心して飲める良質な水道水を供給します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等	水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等	水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等
	<H28繰越分> 資本的支出 399,054千円	<H29繰越分> 資本的支出 679,409千円	<H29繰越分> 資本的支出 679,409千円	<H30繰越分> 資本的支出 679,409千円
	<H29現年分> 収益的支出 1,715,704千円 資本的支出 1,248,930千円	<H30現年分> 収益的支出 2,011,258千円 資本的支出 1,399,317千円	<H31現年分> 収益的支出 1,986,866千円 資本的支出 1,661,664千円	<H32現年分> 収益的支出 2,039,434千円 資本的支出 1,198,428千円

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費	399,054千円	2,795,015千円	679,409千円	3,224,652千円	3,462,607千円	3,051,939千円	3,676,387千円
内訳(千円)							
国・県支出金		0	0	0	0		
地方債	320,200	246,200	0	0	0		
一般会計からの繰入金	13,825	125,388	0	125,770	104,374	105,747	191,339
その他(水道料金等)	65,029	2,423,427	679,409	3,098,882	3,358,233	2,946,192	3,485,048
人工数							
職員		19.00人		18.00人	18.00人	18.00人	18.00人
臨時職員等		3.69人		3.50人	3.50人	3.50人	3.50人
②概算人件費	0千円	169,619千円	0千円	185,923千円	185,923千円	185,923千円	185,923千円
①+②総事業費	399,054千円	2,964,634千円	679,409千円	3,410,575千円	3,648,530千円	3,237,862千円	3,862,310千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
老朽化施設・老朽管の更新・改良を実施し、耐震性の向上など災害に強い水道施設整備に努めました。安定供給のリスクに対し、迅速な対応ができるよう策定している「水安全計画」により、安全で良質な水の供給に努めました。平成29年度の経常収支比率は105.8%と100%を上回っています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
今後の事業経営については、節水意識等の高まりや人口減少などにより料金収入が減収となる反面、更新需要がますます増大し、厳しい経営環境が続くことが予想されます。安定的に事業が継続できるよう、水道ビジョンに基づき中長期的な視点にたった計画的な事業運営に努めます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
名張市水道事業基本計画(水道ビジョン)